

お客様の「いきいき」  
のために

# お客様とともに環境を守ります

宝酒造では、環境に配慮した商品開発をすすめるとともに、  
お客様と協力して容器リサイクルの推進に取り組んでいます。

## ■エコプロダクツの開発

宝酒造では、容器の素材選びなども含め、エコプロダクツ（環境に配慮した商品）の開発をすすめています。特に中身が消費された後の容器は廃棄物となるため、リデュース（減量化）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）の3Rにリフューズ（発生回避）を加えた4Rの取り組みをすすめています。

### 「焼酎のはかり売り」でリフューズを実践

「はかり売り」は新たな容器を使用せずに中身だけ販売する「リフューズ」の実践です。当社の工場から1キロリットルや200リットルの専用タンクを販売店様へ直送し、店頭でお客様が持参した容器に必要な分だけ詰めて販売しています。手間をかけることによって資源の節約や廃棄物の削減を実現していますが、これはまさにお客様、販売店様のご協力によって成り立っています。現在は全国で約220店舗にご協力いただき、1998年の開始以来2006年3月までに2.7リットルペットボトルで約340万本、ダンボール約57万枚節約することができました。



HP D: はかり売り実施店舗一覧

### 2005年度の環境対応事例

対象商品、資材	環境配慮の内容	開始時期
タカラcanチューハイ「WMIX」	350ミリリットル缶の軽量化	11月～
<伝承健寿>梅肉エキス入り濃縮飲料	替え栓に「自然に還るプラスチック」である「生分解性プラスチック製キャップ」を採用	10月～
調味料PET外箱ダンボール	本みりん・本料理清酒の1.8リットル、1リットル、500ミリリットルの外箱ダンボールの紙使用量削減	7月～

HP 1: 環境に配慮した商品開発のための指針 HP 2: グリーン調達・4Rガイドライン

### お客様への環境情報提供

宝酒造ではホームページや展示会、緑字企業報告書など、さまざまな方法を通じてエコプロダクツのご紹介や、容器リサイクルについての啓発を行っています。

また、環境教育の観点から、子供向けに漫画でわかりやすく解説したリサイクル絵本「TaKaRaリサイクルロード」を発行し、ご要望いただいた小学校などに配布しています。

HP E: リサイクルロード



ホームページや冊子などを通じて、環境問題への啓発活動を行っています

## ■宝酒造の主なエコプロダクツ

### 随所にこだわりの環境配慮 有機本みりん

リデュース

宝酒造は、2000年に世界のオーガニックのスタンダードであるOCIA※1の認証を取得した「タカラ有機本みりん」を発売しました。「はずせるキャップ」の採用はもとより、ラベルに非木材紙を使用するなど環境配慮にこだわりました。また、2003年には食品で初めて「EPDタイプⅢ環境ラベル※2」を取得し、お客様に環境にやさしいものをお選びいただく際の指標ができました。さらに2004年には従来よりも約100グラム軽い「超軽量ガラスびん」採用でエコマーク※3を取得しました。



※1  
OCIA (有機農産物改良協会)  
アメリカの国際的な民間有機認証機関



※2  
EPDタイプⅢ環境ラベル (環境製品宣言認証)  
スウェーデン環境管理評議会による国際的な認証。原料の生産からごみとして廃棄されるまで、製品のライフサイクルを通じた環境データの公表を義務づけられたもので、環境配慮型商品としての判断は消費者に委ねられる



※3  
エコマーク  
環境保全に役立つと認められた商品に付けることができる (財) 日本環境協会の認定マーク

HP F: 有機本みりん環境データ

### 容器を再使用 リターナブルびん

リユース

リターナブル容器の使用は、資源の節約や廃棄物の削減に有効な手段であると考えます。しかし、清酒や焼酎などで使用されている一升びんは減少の一途をたどっています。そこで宝酒造では、1994年から主力商品の宝焼酎「純」、宝焼酎「純」レジェンド720ミリリットルびんをリターナブルびんに変更したほか、リターナブルシステムに欠かせないP函（プラスチックケース）レンタル会社や洗びん会社設立への参画など、インフラの整備にも努めてきました。また、2003年から「300ミリリットル統一リターナブルびん」を採用した特撰松竹梅く特別純米>300ミリリットルを販売しています。

HP 3: 720mlリターナブルびんの推移



### 色つきびんのリサイクル エコロジーボトル

リサイクル

ワインや輸入焼酎などに多く見られる色つきガラスびん（透明や茶色を除く）は、ガラス原料へのリサイクルが容易ではありません。宝酒造では、この問題への対策として、さまざまな色のカレット（ガラスびんを砕いたもの）を90%以上使用した「エコロジーボトル」を、2000年に業界で初めて清酒の容器として採用しました。



### 分別作業が簡単 エコペット

リサイクル

宝酒造は、1998年にリサイクルの効率化のために策定された「指定ペットボトル自主設計ガイドライン」に酒類業界で初めて完全準拠したペットボトルを開発しました。キャップを樹脂に、取っ手をなくすかりサイクルペット素材に変更し、ラベルをはがしやすく改良しました。また、本みりんや料理酒には「はずせるキャップ」を採用し、お客様の分別作業やリサイクルを容易にしました。

